

10月号



元気くんからのおたより

☎本部組合員事務局 099-218-8356
☎てるてるコーナー(商品個別窓口)0120-140-586

グリーンコープかごしま生協の
ホームページは [こちらから](#) →



OPEN SALE

谷山店「みらい」が、
2023年10月21日(土)
リニューアルオープン
します!!



♡ 10月21日(土)は

2,000円以上お買い上げごとに
抽選券1枚進呈!

売れ筋商品を割引価格
で販売!

メーカー6社
が出店!!



♡ 10月22日(日)は

青果大市を開催!

♡ 10月21日(土)~
10月27日(金)は

ポイント2倍!

いつも店舗谷山店「みらい」をご利用いただきありがとうございます。
谷山店「みらい」は2000年にオープンし、今年で22年が経過しました。
そこで、もっと組合員にグリーンコープでのお買い物を楽しんでいただけよう、思い切ってリニューアルすることになりました!
これまで利用いただいてきた組合員さんも、まだ利用した事のない組合員さんも、是非、生まれ変わった谷山店「みらい」に足を運んで下さい。
カタログでは伝わらない、グリーンコープ商品の良さを手に取って実感してくださいね!

カタログにはなかなか載らない商品も、お店で購入できるように品揃えを充実させます。みんなであそぼ!

住所 鹿児島市東谷山7丁目25-7 ☎099-263-3335



事前予告

グリーングリーン交流会 大試食会 in おおすみ

日時: 11月28日(火) 10時30分開会 (受付10時から)
会場: 「さつき苑」1階(つつじの間+桜の間)

- ☆グリーンコープの取引メーカー(グリーンクラブ)10社が組合員さんに商品アピールと試食を通して親睦を深めます。
- ☆詳細はカタログ31号(10/9週配布)の大試食会案内のチラシをご覧ください。多くの参加をお待ちしています♡



4月大試食会 in ほくさつ開催の様子

GREENおすすめ委員会

「みるみる通信No.34」アンケート結果

カタログ12号(5/29週配布)でお届けした「みるみる通信」では、45本のびん牛乳の予約をいただきました。対象の皆さんには、もうすぐ、予約継続プレゼントをお届けしますね。楽しみにお待ちください。チラシの裏面では、牛乳についてのアンケートを募集し、たくさんの回答と、質問や要望もお寄せいただきました。その一部を紹介します。

アンケート総数 105枚 *合計数が合わないのは、無記入の方がいるため

Q、牛乳を飲んでますか? はい(95) いいえ(3)
Q、どんな牛乳を飲んでますか? 産直びん牛乳(59) 市販品(9) どちらも(23)
Q、その他、意見・質問・要望など

- ・予約注文して18年になります。これからもおいしいびん牛乳を飲んで健康に過ごしたいと思います。
- ・私はもともと牛乳は大嫌い。でもGCの牛乳の美味しさを知ってから飲めるようになりました。
- ・びんがもう少しスリムになるといいな。
- ・定期で毎週1本ずつ購入しているのですが、2本にすると余ってしまうので、半分量のびん牛乳があればいい。
- ・牛乳の学習会があれば、ぜひ参加したい。



予約者プレゼント

牛乳大好きの方の「美味しい!」というコメントの他に、小規格の要望や、学習会開催の希望も届けられています。びん牛乳は誕生してもうすぐ20周年です。たくさんの組合員さんに、これからも継続してびん牛乳を利用していただけられるように、意見・要望はグリーンコープ全体の委員会にもつないでいきますね。また、次年度に向けて学習会も検討していきたいと思えます。

GREENおすすめ委員長 下本地 紀子



「ゲノム編集食品・作物の規制を求める要望書を届けました!」

受け取る0 受け取らない11 その他5

- 「受け取らない理由」
- ・トマトの産地で、栽培種との交雑を懸念するため。
 - ・安全性が確認されていないため。
 - ・科学的に証明されていないものであれば、健康被害が懸念されるため。
 - ・環境への影響や安全性の確認等詳しい説明がなされていない場合は受け取らない。

パイオニアエコサイエンス社は、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュハイギャバ」の種苗を、福祉施設や教育施設へ無償配布する計画を発表しました。

自治体の教育施設において、ゲノム編集トマトを受け取らないよう行政や教育委員会88カ所へ要望書を届け、16カ所から回答をいただきました。



イラスト: BIKKE



いのちとくらしの委員長 上川畑 倫未



7月21日 ラグーナ出版視察報告

「鹿児島市にある就労支援A型事業所ラグーナ出版に視察に伺いました♪」

まず紹介された部屋はラグーナ診療所でした。精神科、心療内科の病院ですが、病院という空間ではなく、とても心地良いお部屋で、テーブルにはラグーナ出版で出版されている絵本や本が置いてあり、優しい絵の本が沢山並べてありました。今年16年目で32の方が働かれ、出版事業、名刺やチラシなどの印刷物作成などを行っています。実際に仕事をされているところを拝見しましたが、パソコンを使って作業していたり、製本の過程も丁寧で温かみのある商品を作られていました。

また、併設されている就労支援B型のポラーノ・ポラーリは、人・地域・社会のつながりを取り戻す自立訓練の場所として作られました。畑で野菜を作ったり、はちみつやハンドメイドの販売

、カフェをされているそうです。伺った時間が丁度お昼の時間で美味しそうな香りがしていました。お話に「精神疾患は、だれでもかかる可能性のある疾患である」と伺いましたが、このような居場所があると安心して病気に向き合い、社会と繋がっていいのではないかと感じました。

福祉委員 今村 千鶴

